

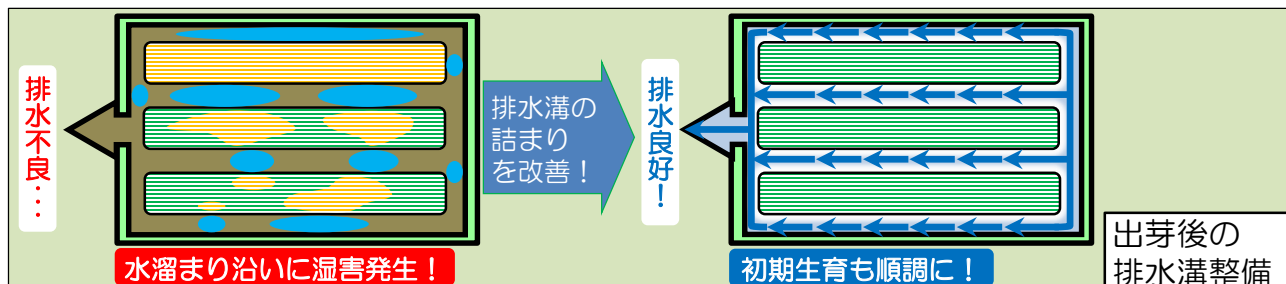
令和2年度 作物栽培管理情報第8号

令和2年12月発行

大分県中部振興局 集落営農・農地活用班

1. 令和3年産麦 2. 生育期の管理作業（前編）

1) 排水対策 ～湿害回避は排水溝の整備から！～



ポイント 湿害を防ぐことが、収量・品質向上の第一歩です。

2) 踏圧・土入れ ～健全な生育のため適度な刺激を与えましょう！～

- (1) 踏圧の ①目的 : 茎数増加、耐寒(干)性向上、倒伏・凍霜害防止
 ②時期・回数 : 麦3～4葉期の間に3～4回、生育過剰の圃場は1～2回追加
- (2) 土入れの①目的 : 排水性・除草効果向上、霜からの幼穂保護、無効分げつ抑制、倒伏防止
 ②時期・回数 : 麦4葉期頃～茎立期までに2回程度、生育過剰の圃場は追加

ポイント 気象条件に合わせ、麦の生育を調節しましょう。

3) 麦生育期の雑草対策 ～適切な除草剤散布で雑草のない圃場に！～

参考 生育期に散布する除草剤の例 ※圃場の雑草を確認し、天候に注意し速やかに散布！

薬剤名	使用上の注意		散布時の注意		適用雑草・限界葉齢				
	使用時期	回数	使用量 /10a	散布量 /10a	イネ科		一年生広葉		
					スズメノテッポウ	カズノコグサ	カラスノエンドウ	タデ類	ヤエムグラ
ハーモニー75DF ※カズノコグサには10g使用	播種後 ～節間伸長前	1回	5～10g	100L	5葉期まで	3葉期まで	X	X	X
バサグラン液剤	生育期、但し 収穫90日前まで								
アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで	2回以内	～200ml	～100L	X	X	X	X	X

注意 散布前に農薬ラベルを確認し、散布後は機械の洗浄を徹底しましょう。

ポイント 除草剤散布と土入れと併せて行うことで、除草効果が向上します。

4) 分げつ肥の施用 ～生育量確保には適期・適正施肥が不可欠です！～

(1) 成分量 (共通)	成分量 (kg/10a)	基肥	分げつ肥	穂肥	(実肥)	計
窒素 (N)		5	2	3 (5)	(6)	10 (16)
リン酸 (P ₂ O ₅)		8	0	0	(0)	8
カリ (K ₂ O)		5	1	2	(0)	8

(2) 施用量 硫安で10kg/10a

(3) 施用時期 麦3～4葉期

ポイント 播種期・出芽期が遅かった圃場こそ、生育量確保のため確実に施用しましょう！